

黒部市総合振興計画策定にかかる
『中高生アンケート調査』

調査結果

平成 18 年 9 月

- 目 次 -

1 . 調査概要

1) 調査目的	1
2) 調査対象	1
3) 調査方法	1
4) 回収数	1
5) 回答者属性	1

2 . 調査結果のまとめ

1) 住みよさ (問3)	3
2) 定住意向 (問4)	3
3) 移り住みたい地域 (問5)	3
4) 住み続ける際の不満 (問6)	3
5) 本市の自慢 (問7)	4
6) 本市の嫌いな点、改善すべき点 (問8)	4
7) 日常生活について (問9)	5
8) 本市の将来像 (問10)	6

3 . 集計結果・分析

1) 住みよさ (問3)	7
2) 定住意向 (問4)	7
3) 移り住みたい地域 (問5)	7
4) 住み続ける際の不満 (問6)	8
5) 本市の自慢 (問7)	9
6) 本市の嫌いな点、改善すべき点 (問8)	10
7) 日常生活について (問9)	11
8) 本市の将来像 (問10)	13

1. 調査概要

1) 調査目的

- ・総合計画は、市の指針となるものであり、様々な分野別計画の基本となるものである。合併後初めてとなる「黒部市総合振興計画」の策定に向け、市民意向を把握し、計画に反映することを目的とする。

2) 調査対象

- ・高施中学校、高施中学校、高志野中学校、桜井中学校、宇奈月中学校及び桜井高等学校の生徒。

3) 調査方法

- ・学校にて、配布・回収。

4) 回収数

- ・回収数：578 枚
 - 内訳 中学生 384 枚
 - 高施中学校 75 枚
 - 高志野中学校 94 枚
 - 桜井中学校 169 枚
 - 宇奈月中学校 46 枚
 - 高校生 194 枚
 - 桜井高等学校 194 枚

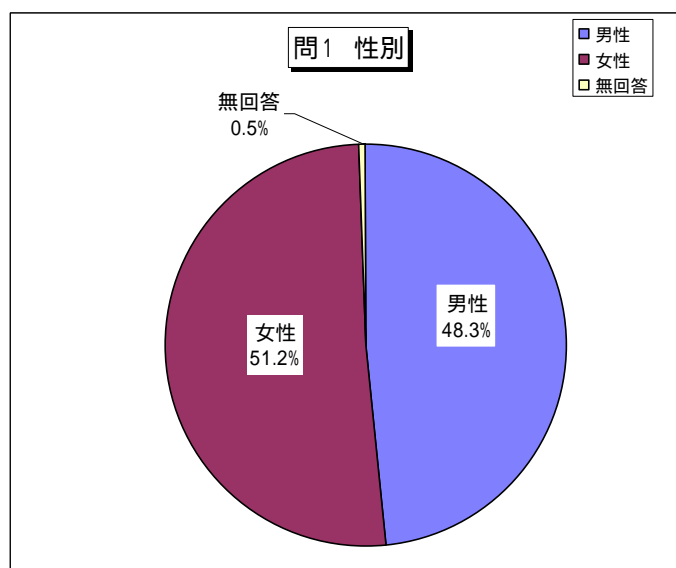
5) 回答者属性

(1) 性別 (問1)

全体傾向

選択項目	人数	構成比
男性	279	48.3%
女性	296	51.2%
無回答	3	0.5%
合計	578	100%

・「男性」より「女性」が約3%多い。

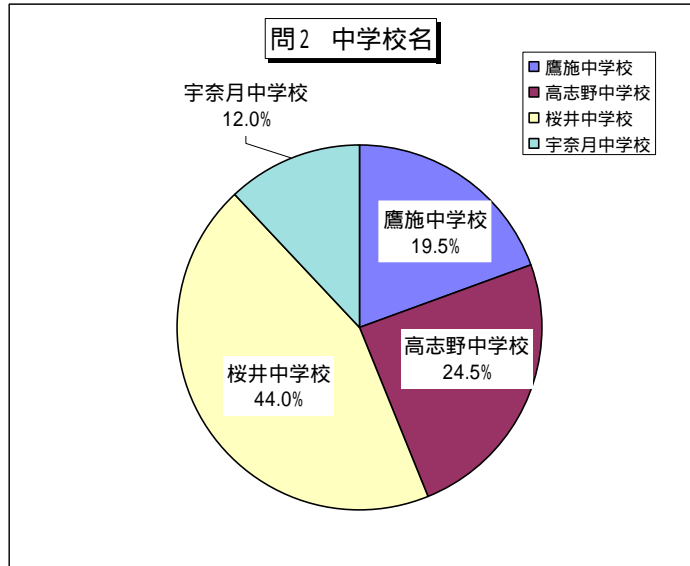


(2) 中学校、居住地 (問 2)

中学生の傾向

項 目	人 数	割 合
鷹施中学校	75	19.5%
高志野中学校	94	24.5%
桜井中学校	169	44.0%
宇奈月中学校	46	12.0%
無回答	0	0.0%
合計	384	100%

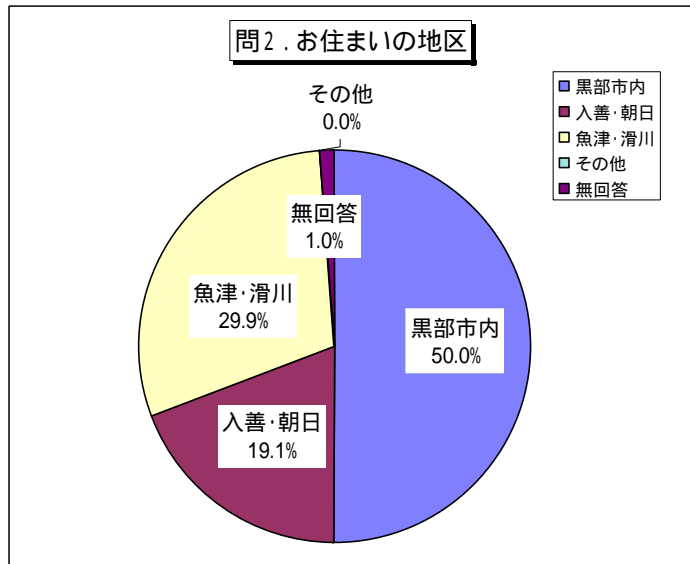
・「桜井中学校」が44.0%と最も多い。



高校生の傾向

選択項目	人 数	構成比
黒部市内	97	50.0%
入善・朝日	37	19.1%
魚津・滑川	58	29.9%
その他	0	0.0%
無回答	2	1.0%
合計	194	100%

・「黒部市内」が50.0%と最も多く、次いで「魚津・滑川」が29.9%である。



2. 調査結果のまとめ

1) 住みよさ (問3)

- ・「住み良い」(24.7%)と「まあまあ住み良い」(30.3%)をあわせると、どちらかという住み良いと感じている人が55.0%である。

2) 定住意向 (問4)

- ・「このままずっと住み続けたい」(10.2%)と「一時離れることはあっても住み続けたい」(54.1%)をあわせると、回答者の64.3%が定住意向を持っている。

3) 移り住みたい地域 (問5)

- ・移り住みたい地域として「3大都市」が66.4%と最も多い。

4) 住み続ける際の不満 (問6)

【全体】

順位	項目	割合
1	3.お店が少なく買い物がしにくい	58.3%
2	4.娯楽施設など楽しい場所が少ない	42.7%
3	1.働きたいと思う場所が少ない	37.2%
4	2.電車やバスなど交通の便が悪い	22.5%
5	10.祭りなどのイベントが少ない	18.9%
6	11.まちに活気がなく、魅力がない	16.4%
7	5.公園などくつろげる場所が少ない	15.1%
8	6.進学などの問題がある	9.2%
9	8.体育館や図書館など公共施設が不十分	6.1%
10	9.住むためにまわりの環境がよくない	5.4%
11	7.医療・福祉の面に不満がある	2.4%
12	13.その他	2.2%
13	12.地域の生活習慣や風習になじめない	0.9%

【中高生別】

中高生別で差がある項目

項目	中学生	高校生	差
3.お店が少なく買い物がしにくい	56.5%	31.3%	25.3%
1.働きたいと思う場所が少ない	39.3%	16.7%	22.7%
10.祭りなどのイベントが少ない	25.3%	3.1%	22.1%
11.まちに活気がなく、魅力がない	19.5%	5.2%	14.3%
4.娯楽施設など楽しい場所が少ない	38.8%	25.5%	13.3%

は割合が高い方を示す

5) 本市の自慢 (問7)

【全体】

順位	項目	割合
1	3. 生地の清水などの名水がある	78.4%
2	1. 自然環境が豊か	60.0%
3	12. 自然災害が少ない	31.5%
4	2. 美味しい食べ物が豊富	27.3%
5	7. 治安が良い	10.9%
6	8. 近所付き合いが盛ん	8.0%
7	6. 世界的な企業がある	7.1%
8	13. 住環境が良い	6.4%
9	5. 観光資源がたくさんある	5.7%
10	10. 病院や福祉施設が充実している	4.2%
11	9. 図書館や公園などがたくさんある	2.1%
12	11. 買い物に便利	2.1%
13	4. 交通の便が良い	1.0%
14	14. 行政サービスが充実している	0.7%
15	15. その他	0.5%

【中高生別】

中高生別で差がある項目

項目	中学生	高校生	差
3. 生地の清水などの名水がある	81.3%	36.7%	44.5%
1. 自然環境が豊か	62.0%	28.4%	33.6%
12. 自然災害が少ない	37.0%	10.4%	26.6%
2. 美味しい食べ物が豊富	32.3%	8.9%	23.4%

は割合が高い方を示す

6) 本市の嫌いな点、改善すべき点 (問8)

【全体】

順位	項目	割合
1	11. 買い物に不便	55.2%
2	4. 交通の便が悪い	24.7%
3	9. 図書館や公園などが少ない	22.5%
4	5. 観光資源を活かしていない	13.3%
5	1. 自然環境が悪化している	9.9%
6	2. 美味しい食べ物が少ない	8.8%
7	6. 工場からの騒音や振動など	8.5%
8	3. 名水の活用が不十分	8.1%
9	7. 治安が良くない	5.7%
10	10. 病院や福祉施設が少ない	5.7%
11	14. 行政サービスが良くない	4.7%
12	8. 近所付き合いが難しい	4.3%
13	13. 住環境が良い悪い	4.0%
14	15. その他	3.1%
15	12. 自然災害が多い	1.0%

【中高生別】

中高生別で差がある項目

項 目	中学生	高校生	差
11. 買い物に不便	54.2%	28.9%	25.3%
9. 図書館や公園などが少ない	26.6%	7.3%	19.3%
5. 観光資源を活かしていない	15.4%	4.7%	10.7%

は割合が高い方を示す

7) 日常生活について (問9)

【全体】

市内ですることが多い生活行動順位

順 位	生活行動	割合
1	1. 食品・飲料などの買い物	68.5%
2	7. 治療、診療など	67.8%
3	9. スポーツ活動	67.1%
4	5. 書籍・CD・DVD・ビデオなどのソフトの購入やレンタル	64.4%
5	8. 美容院・理容室	61.1%
6	10. 塾や習い事	44.1%
7	3. 日用雑貨などの買い物	38.1%
8	6. 外食(日常的なものを除く)	35.5%
9	4. 電化製品などの買い物	16.1%
10	2. 衣料品などの買い物	13.5%

【中高生別】

中高生別で差がある項目

項 目	中学生	高校生	差
1. 食品・飲料などの買い物	76.6%	52.6%	24.0%
5. 書籍・CD・DVD・ビデオなどのソフトの購入 やレンタル	74.5%	44.3%	30.1%
7. 治療、診療など	78.1%	47.4%	30.7%
8. 美容院・理容室	70.3%	42.8%	27.5%
9. スポーツ活動	75.5%	50.5%	25.0%
10. 塾や習い事	58.6%	15.5%	43.1%

は割合が高い方を示す

8) 本市の将来像 (問10)

【全体】

順位	項目	割合
1	1. 水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち	53.6%
2	2. リサイクルやゴミの適正処理、新エネルギーを活用する、環境にやさしいまち	28.7%
3	15. スポーツや健康づくりの環境が充実した、元気で健やかなまち	25.4%
4	6. 商業を中心とした活気のある、賑わいのまち	19.9%
5	3. 人と水との関わりを再認識できる水を活かしたまち	19.6%
6	4. 美味しい農林水産物に恵まれた、農林業・水産業の盛んなまち	13.5%
7	8. 道路、公園、上下水道などが充実する、居住環境が整ったまち	13.5%
8	11. 高齢者や障害者にやさしい、バリアフリーのまち	11.4%
9	10. 誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち	11.1%
10	12. 災害に強い安全で安心な暮らしを実現できるまち	11.1%
11	9. 交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち	7.8%
12	14. 文化・芸術活動が盛んな、文化の香り高いまち	7.6%
13	17. 地域のコミュニティ活動が盛んな、心ふれあうまち	6.6%
14	7. 地域資源を活かし交流の盛んな、観光交流のまち	6.2%
15	13. 学校・家庭・生涯教育などの教育環境が充実したまち	4.5%
16	16. 市民と行政が一体となりまちづくりを推進するまち	4.2%
17	5. 企業立地が多い、産業の盛んなまち	3.6%
18	18. その他	1.0%

【中高生別】

中高生別で差がある項目

- ・特に、大きな差がある項目はない。

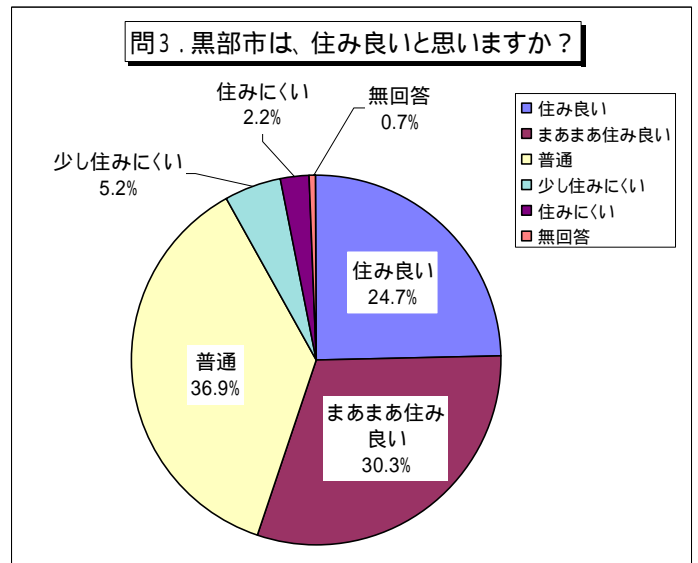
3. 集計結果・分析

1) 住みよさ (問3)

全体傾向

項目	人数	割合
住み良い	143	24.7%
まあまあ住み良い	175	30.3%
普通	213	36.9%
少し住みにくい	30	5.2%
住みにくい	13	2.2%
無回答	4	0.7%
合計	578	100%

・「住み良い」(24.7%)と「まあまあ住み良い」(30.3%)をあわせると、どちらかという住み良いと感じている人が55.0%である。

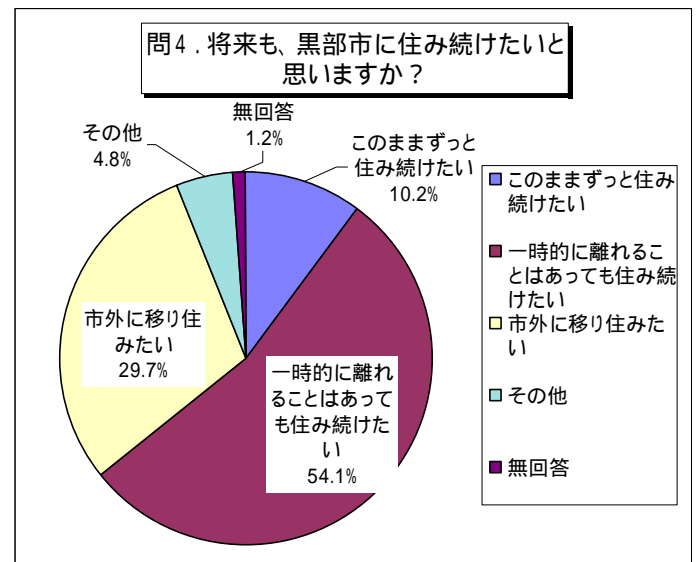


2) 定住意向 (問4)

全体傾向

項目	人数	割合
このままずっと住み続けたい	49	9.4%
一時的に離れることはあっても、黒部市に住み続けたい	260	54.9%
市外に移り住みたい	143	29.7%
その他	23	4.9%
無回答	6	1.0%
合計	481	100%

・「このままずっと住み続けたい」(10.2%)と「一時離れることはあっても住み続けたい」(54.1%)をあわせると、回答者の64.3%が定住意向を持っている。

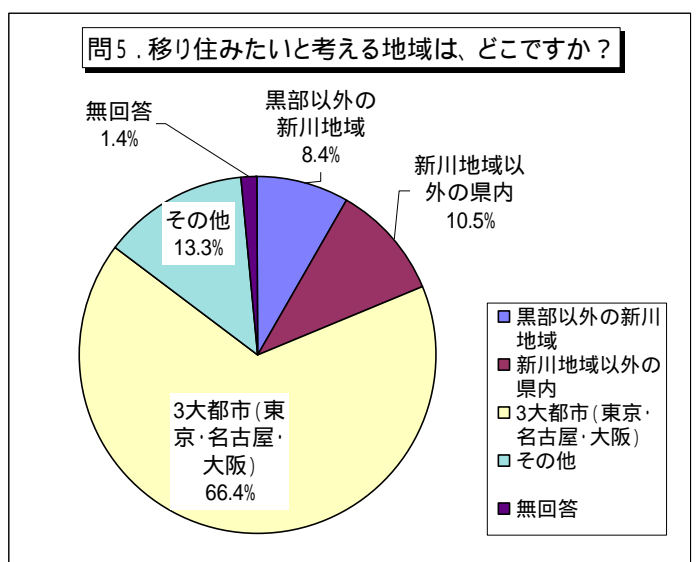


3) 移り住みたい地域 (問5)

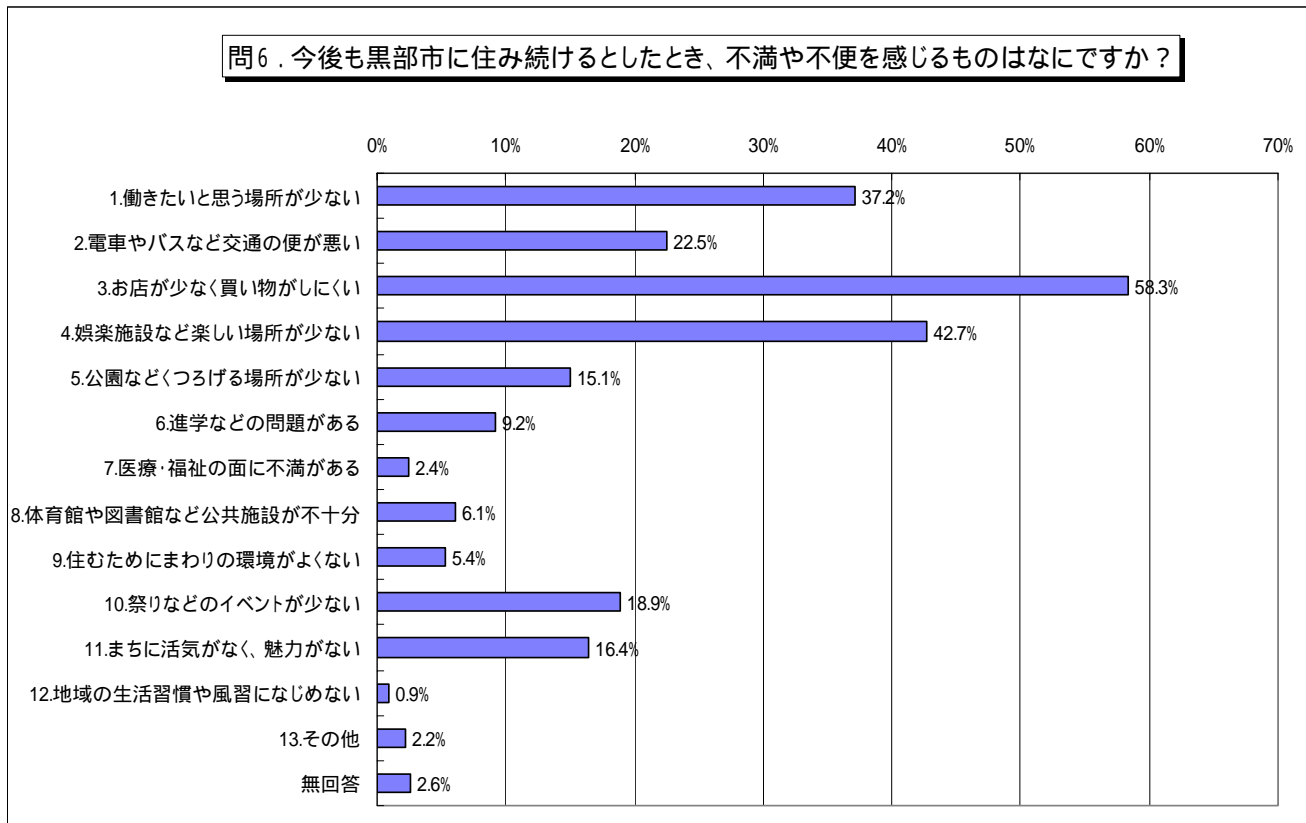
全体傾向

項目	人数	割合
黒部以外の新川地域	12	8.4%
新川地域以外の県内	15	10.5%
3大都市(東京・名古屋・大阪)	95	66.4%
その他	19	13.3%
無回答	2	1.4%
合計	143	100%

・「3大都市」が66.4%と最も多い。



4) 住み続ける際の不満 (問6)
全体傾向



	1位	2位	3位	4位	5位
全体	3. お店が少なく 買い物がしにくい 58.3%	4. 娯楽施設など 楽しい場所が 少ない 42.7%	1. 働きたいと思 う場所が少な い 37.2%	2. 電車やバスな ど交通の便が 悪い 22.5%	10. 祭りなどの イベントが少 ない 18.9%

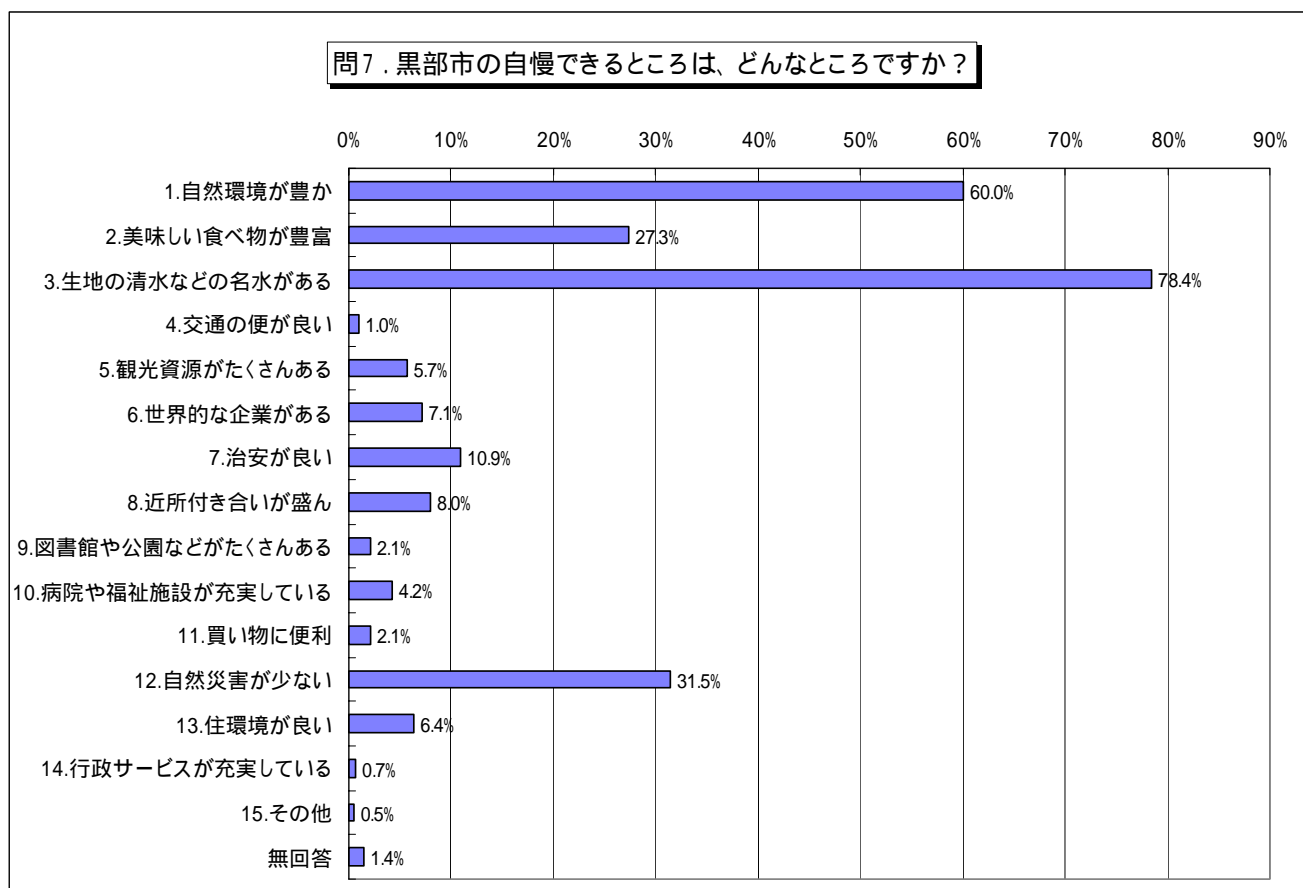
- ・本市に住み続ける際の不満として、「3. お店が少なく買い物がしにくい」(58.3%) が最も多く、次いで「4. 娯楽施設など楽しい場所が少ない」(42.7%)、「1. 働きたいと思う場所が少ない」(37.2%) の順となっている。

中高生別傾向

	1位	2位	3位	4位	5位
中学生	3. お店が少なく 買い物がしにくい 56.5%	1. 働きたいと思 う場所が少な い 39.3%	4. 娯楽施設など 楽しい場所が 少ない 38.8%	10. 祭りなどの イベントが少 ない 25.3%	11. まちに活気 がなく、魅力 がない 19.5%
高校生	3. お店が少なく 買い物がしにくい 61.9%	4. 娯楽施設など 楽しい場所が 少ない 50.5%	2. 電車やバスな ど交通の便が 悪い 33.5%	1. 働きたいと思 う場所が少な い 33.0%	5. 公園などくつ ろげる場所が 少ない 13.4%

- ・中学生は、「11. まちに活気がなく、魅力がない」(19.5%) が5位に入っている。
- ・高校生は、「5. 公園などくつろげる場所が少ない」(13.4%) が5位に入っている。

5) 本市の自慢 (問7)
全体傾向



・本市の自慢できる点として、「3. 生地の清水などの名水がある」(78.4%)が最も多く、次いで「1. 自然環境が豊か」(60.0%)、「12. 自然災害が少ない」(31.5%)の順となっている。

市民意識調査との比較

	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	3. 生地の清水などの名水がある 78.4%	1. 自然環境が豊か 60.0%	12. 自然災害が少ない 31.5%	2. 美味しい食べ物が豊富 27.3%	7. 治安が良い 10.9%
全 体 (市民意識調査)	1. 自然環境が豊か 56.2%	12. 自然災害が少ない 50.6%	2. 美味しい食べ物が豊富 34.5%	3. 生地の清水などの名水がある 33.0%	6. 世界的な企業がある 16.9%

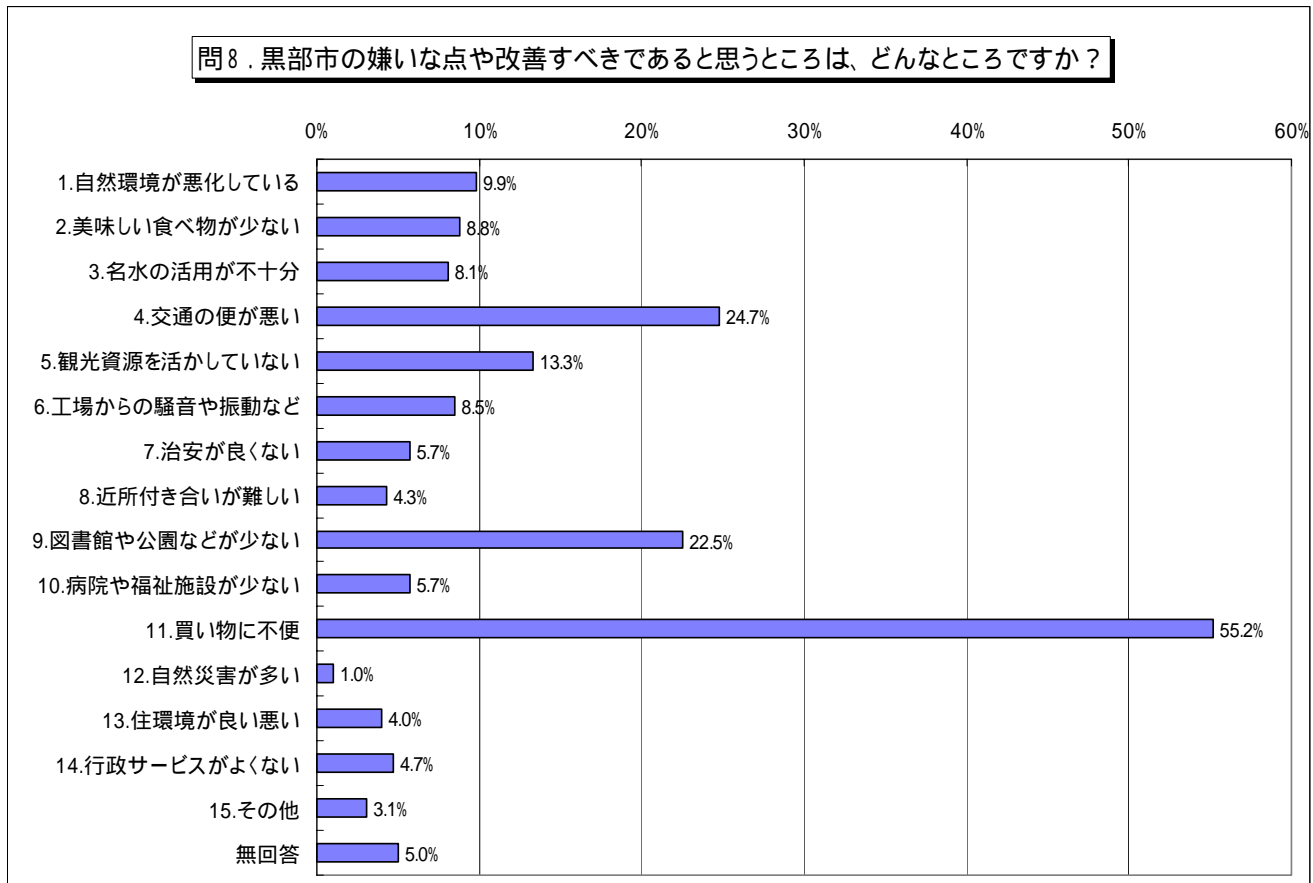
・市民意識調査では、「1. 自然環境が豊か」(56.2%)が最も多い。
・「6. 世界的な企業がある」(16.9%)が5位に入っている。

中高生別傾向

	1位	2位	3位	4位	5位
中学生	3. 生地の清水などの名水がある 81.3%	1. 自然環境が豊か 62.0%	12. 自然災害が少ない 37.0%	2. 美味しい食べ物が豊富 32.3%	8. 近所付き合いが盛ん 9.4%
高校生	3. 生地の清水などの名水がある 72.7%	1. 自然環境が豊か 56.2%	12. 自然災害が少ない 20.6%	2. 美味しい食べ物が豊富 17.5%	7. 治安が良い 14.9%

・中学生は、「8. 近所付き合いが盛ん」(9.4%)が5位に入っている。
・高校生は、1位から5位までは全体と同じ傾向である。

6)本市の嫌いな点、改善すべき点 (問8)
全体傾向



・本市の嫌いな点、改善すべき点として、「11.買い物に不便」(55.2%)が最も多く、次いで「4.交通の便が悪い」(24.7%)、「9.図書館や公園などが少ない」(22.5%)の順となっている。

市民意識調査との比較

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	11. 買い物に不便 55.2%	4. 交通の便が悪い 24.7%	9. 図書館や公園などが少ない 22.5%	5. 観光資源を活かしていない 13.3%	1. 自然環境が悪化している 9.9%
全体 (市民意識調査)	4. 交通の便が悪い 50.0%	11. 買い物に不便 33.9%	5. 観光資源を活かしていない 30.9%	14. 行政サービスが良くない 22.0%	10. 病院や福祉施設が少ない 19.6%

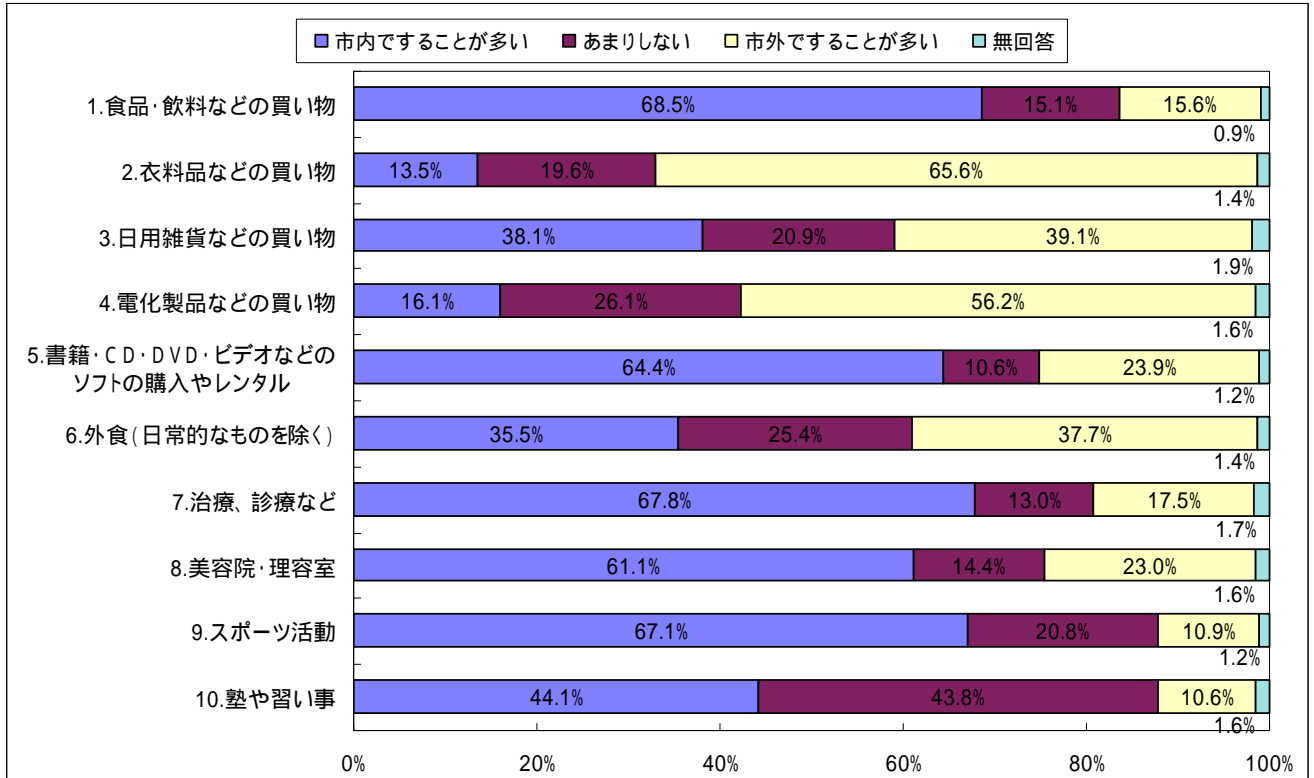
・市民意識調査では、「14.行政サービスが良くない」(22.0%)や「10.病院福祉施設が少ない」(19.6%)が4位、5位に入っている。

中高生別傾向

	1位	2位	3位	4位	5位
中学生	11. 買い物に不便 54.2%	9. 図書館や公園などが少ない 26.6%	4. 交通の便が悪い 20.6%	5. 観光資源を活かしていない 15.4%	1. 自然環境が悪化している 10.4%
高校生	11. 買い物に不便 57.2%	4. 交通の便が悪い 33.0%	9. 図書館や公園などが少ない 14.4%	7. 治安が良くない 11.9%	5. 観光資源を活かしていない 9.3%

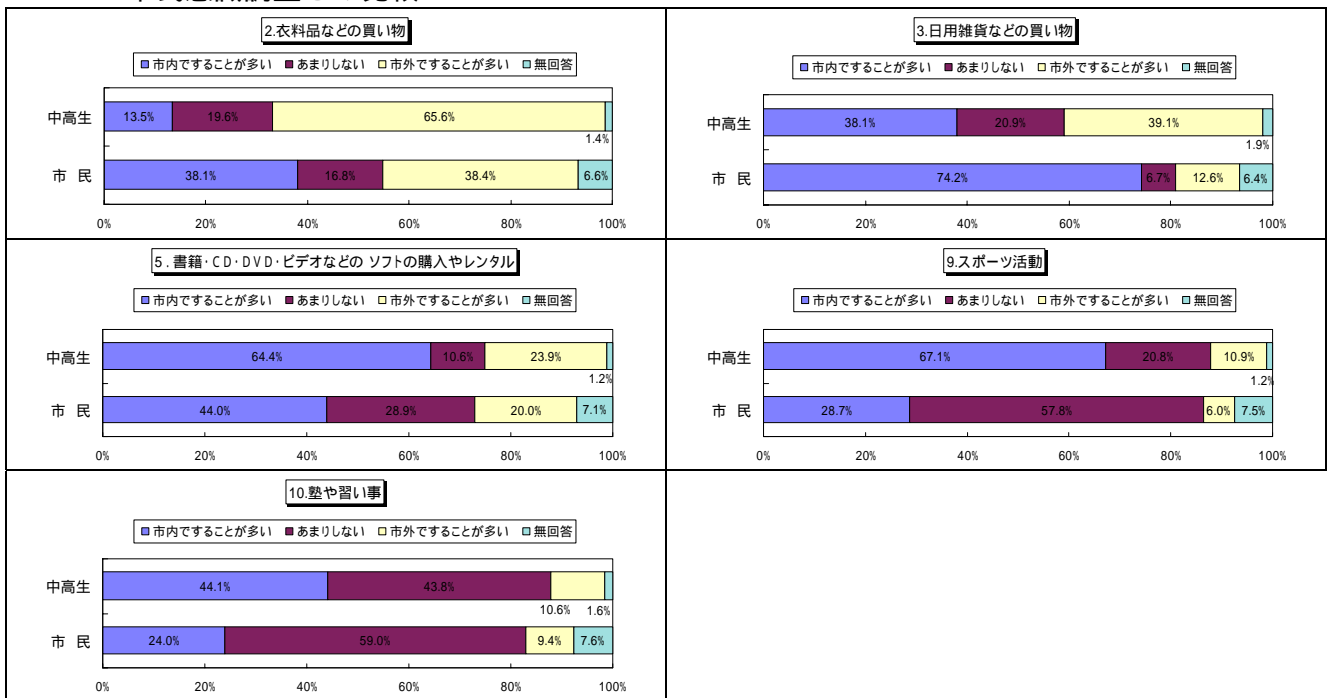
・中学生は、全体と比較すると、「9.図書館や公園などが少ない」(全体3位)と「4.交通の便が悪い」(全体2位)の順位が入れ替わっている。
・高校生は、「7.治安が良くない」(11.9%)が4位に入っている。

7) 日常生活について (問9)
全体傾向



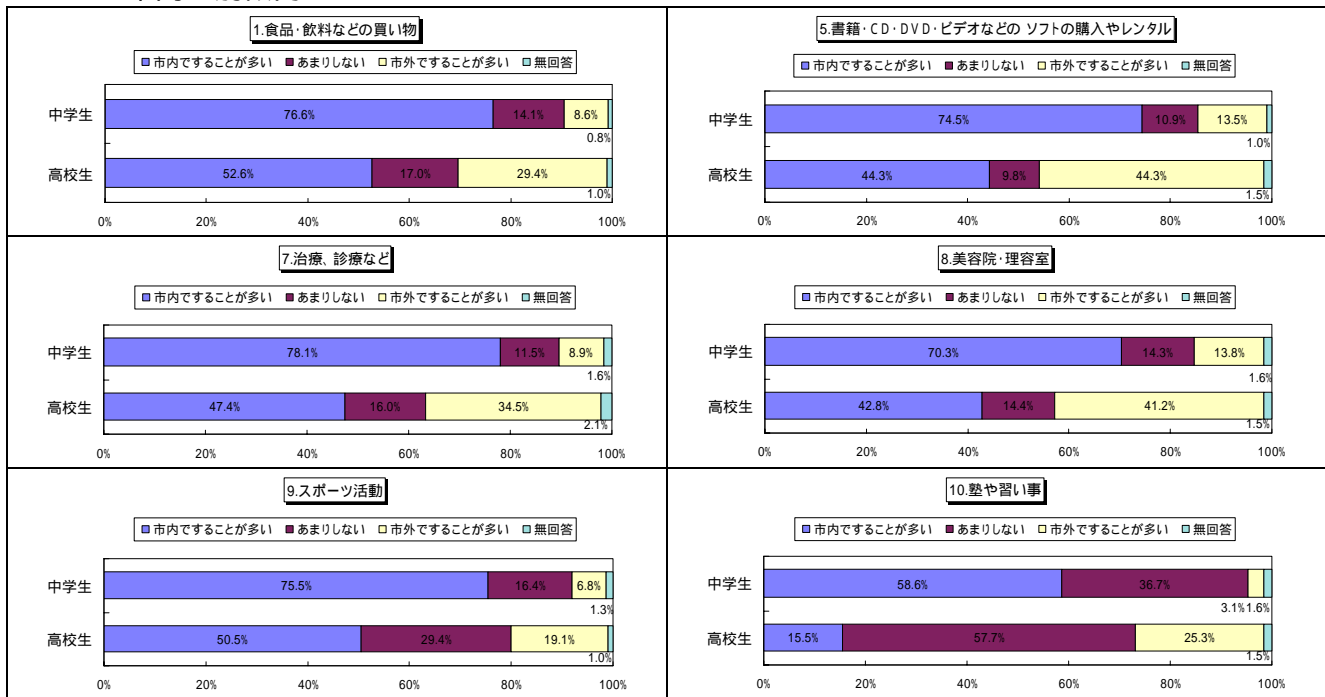
- ・「1.食品・飲料などの買い物」、「5.書籍・CD・DVD・ビデオなどのソフトの購入やレンタル」、「7.治療、診療、デイケアなど」、「8.美容院・理容室」及び「9.スポーツ活動」は、6割以上の方が市内で行動することが多い。
- ・「2.衣料品などの買い物」、「3.日用雑貨などの買い物」、「4.電化製品などの買い物」、「6.外食(日常的なものを除く)」及び「9.温泉や銭湯での入浴」は、市内より市外ですることが多い。

市民意識調査との比較



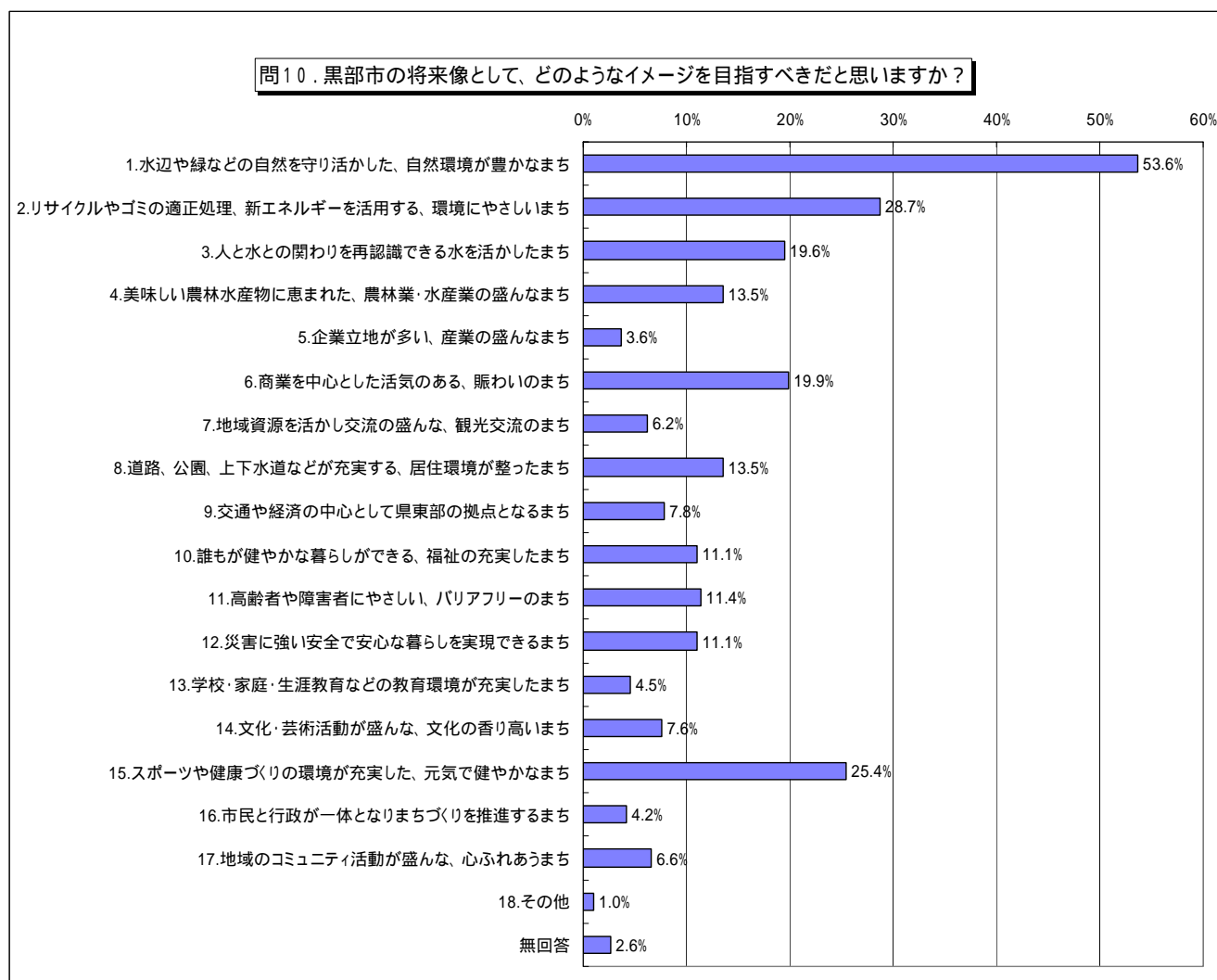
- ・市民意識調査と比較すると、特に、差が見られる項目は、「2.衣料品などの買い物」、「3.日用雑貨などの買い物」、「5.書籍・CD・DVD・ビデオなどのソフトの購入やレンタル」、「9.スポーツ活動」及び「10.塾や習い事」である。

中高生別傾向



- ・中高生別で比較すると、特に、日常行動に差が見られる項目は、「1.食品・飲料などの買い物」、「5.書籍・CD・DVD・ビデオなどのソフトの購入やレンタル」、「7.治療、診療、デイケアなど」、「8.美容院・理容室」、「9.スポーツ活動」及び「10.塾や習い事」である。

8) 本市の将来像 (問10) 全体傾向



・本市の将来像として、「1.水辺や緑などの自然を守り活かした自然環境が豊かなまち」(53.6%)が最も多く、次いで「2.リサイクルやゴミの適正処理、新エネルギーを活用する、環境に優しいまち」(28.7%)、「15.スポーツや健康づくりの環境が充実した、元気で健やかなまち」(25.4%)の順となっている。

市民意識調査との比較

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち 53.6%	2.リサイクルやゴミの適正処理、新エネルギーを活用する、環境にやさしいまち 28.7%	15.スポーツや健康づくりの環境が充実した、元気で健やかなまち 25.4%	6.商業を中心とした活気のある、賑わいのまち 19.9%	3.人と水との関わりを再認識できる水を活かしたまち 19.6%
全体 (市民意識調査)	1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち 39.2%	10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち 34.6%	9.交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち 21.5%	8.道路、公園、上下水道などが充実する、居住環境が整ったまち 18.7%	2.リサイクルやゴミの適正処理、新エネルギーを活用する、環境にやさしいまち 18.1%

・市民意識調査では、「10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち」が2位、「9.交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち」が3位、「2.リサイクルやゴミの適正処理、新エネルギーを活用する、環境に優しいまち」が4位に入っている。

中高生別傾向

	1位	2位	3位	4位	5位
中学生	1. 水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち	2. リサイクルやゴミの適正処理、新エネルギーを活用する、環境にやさしいまち	15. スポーツや健康づくりの環境が充実した、元気で健やかなまち	6. 商業を中心とした活気のある、賑わいのまち	3. 人と水との関わりを再認識できる水を活かしたまち
	54.4%	29.4%	27.1%	21.6%	20.1%
高校生	1. 水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち	2. リサイクルやゴミの適正処理、新エネルギーを活用する、環境にやさしいまち	15. スポーツや健康づくりの環境が充実した、元気で健やかなまち	3. 人と水との関わりを再認識できる水を活かしたまち	6. 商業を中心とした活気のある、賑わいのまち
	52.1%	27.3%	22.2%	18.6%	16.5%

- ・中学生は、1位から5位までは全体と同じ傾向である。
- ・高校生は、全体と比較すると、「3. 人と水との関わりを再認識できる水を活用したまち」(全体5位)と「6. 商業を中心とした活気のある、賑わいのまち」(全体4位)の順位が入れ替わっている。